

(別記)

令和3年度古平町水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕作面積に占める主食用米面積の割合が約5割であり、転作作物の占める割合は飼料用米の面積が多く、主食用米の需要が減少する中で他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少がみられるとともに不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稲作付面積の維持が課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

高収益作物の導入にあたっては、需要が増加している野菜の安定生産や、消費者のニーズに対応した多様な品目の作付、高品質で安定した生産による産地ブランド力の向上などの取組を通じて、特色ある産地づくりや、収益化の向上による経営の安定化を進める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の点検を町が年1回実施する。また、点検結果を踏まえ、農家に畑地化に係る支援内容の情報提供を行う。

不作付地の拡大が進んでいる中で、水田を有効利用するため、中心経営体への農地の集約や認定新規就農者の受入れ促進及び農地所有適格法人を誘致し、農地の受け手を確保することで水稲作付面積の維持を図る。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保し前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、近年の北海道産酒造好適米の需要増加に伴い、本町でも酒造好適米の作付を奨励する。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中、飼料用米の転作を推進する。飼料用米の生産拡大にあたっては、国からの産地交付金を活用した多収性専用品種の導入推進及び団地化の推進を図り、令和3年には、地域水田面積の約2割での導入を目指す。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物等	前年度作付面積等 (ha)	当年度の作付予定面積等 (ha)	令和5年度の作付目標面積等 (ha)
主食用米	13.1	13.1	13.8
備蓄米			
飼料用米	1.6	1.8	2.7
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米			
麦			
大豆			
飼料作物			
・子実用とうもろこし			
そば			
なたね			
高収益作物			
・野菜			
・花き・花木			
・果樹			
・その他の高収益作物			
その他			
畑地化			

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値	
				前年度（実績）	目標値		
1	飼料用米	飼料用米作付助成	1. 作付面積 2. 単収	(令和2年度) 1.6ha (令和2年度) 482kg/10a	(令和5年度) 2.7ha (令和5年度) 494kg/10a		

- ※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
 ※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

- ※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

古平町

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額	
	当初配分 (A)	追加配分 (B)		
古平町	127,000	103,000	24,000	126,270

(注) 追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

古平町

配分枠(円)

127,000

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3																合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)		
				戦略作物						新市場 開拓用米	そば	なたね	高収益作物				その他						
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲				加工用米	野菜	花き・花木	果樹	その他の 高収益作物	てん菜	でん 原馬 鈴しよ			小豆	菜豆
1	飼料用米作付助成	1	6,900					183													183	126,270	
																					0	0	
																					0	0	
																					0	0	
																					0	0	
合計(基幹)※4			実面積					183													183	※6	
合計(二毛作)※4			実面積																		0	126,270	

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う使途について記入し、追加配分により支援を行う使途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各使途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分を受けた場合の調整方法

個票1番に充当する。なお、調整後の単価は円単位とし、小数点以下は切り捨てとする。

調整後単価＝(当初配分額＋追加配分額(留保分))÷所要額×助成単価

注 転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算の配分額の調整を行う場合等についても必要に応じて記載してください。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

超過する場合は、配分額内に収まるように割り返して単価調整する。
なお、調整後の単価は円単位とし、小数点以下は切り捨てとする。

調整後単価＝配分額÷所要額×助成単価

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	古平町			整理番号	1	
使途名	飼料用米作付助成					
対象作物	飼料用米					
単 価	6,900円/10a（上限単価 6,900円/10a）					
課 題	<p>主食用米の需給が今後不透明な中、需給バランスを維持していくためには非主食用米への転作が必要不可欠である。一方で古平町における飼料用米の作付面積が少なく出荷数量が少ないことから、取引価格が不利になっており、これらのことから、単収の向上とコストの削減が課題となっている。そのため基本技術を励行することにより収量を向上させ、生産費などコストを抑える取組や省力化を図りつつ、作付面積の拡大を図る。</p>					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作付面積 単収	目標	2.5ha 485kg/10a	2.5ha 488kg/10a	2.6ha 491kg/10a	2.7ha 494kg/10a
		実績	1.6ha 482kg/10a	—	—	—
内 容	飼料用米の作付に加え、収量向上の取組や省力化の取組を行った場合に対して助成する。					
具体的要件	<p>生産性向上及び品質向上のため、次の取組のうち、2つ以上の取組を実施した飼料用米の作付に対して助成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温湯種子消毒の実施（購入種子（消毒済み）も含む） 2 土壌診断結果に基づく施肥 3 ケイ酸資材の活用 4 効果的な防除対策 病害虫発生予察に基づき適期防除の実施 5 効率的な出荷への取組 作業省力化のためフレコン・バラ等による出荷を行う 6 作付規模の拡大 水稻の多収性品種作付面積が前年産を上回ること 7 明暗渠排水の整備、心土破碎、穿孔排水による透・排水性の改善 					
取組の 確認方法	助成対象者・助成対象水田・助成対象面積・助成対象作物： 交付申請書・現地確認、出荷入荷記録表、販売・購入記録表、生産履歴、作業日誌、現地確認					
成果等の 確認方法	令和3年12月末までに、交付申請書、営農計画書、現地確認、水稻共済細目書、出荷票等で作付面積及び単収を確認する。					
備考						

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和3年度から新規に設定した目標については、令和2年度の目標の記載は不要です。